平成26年度 担い手対応情報 Tとことん、A会って、 Cコミュニケーション!!

TAC

通信

平成26年 8月5日 *Ma* **2 6**

JA福井県経済連 担い手対策課 1m0776-91-0187

米集荷運動開始!JA當線



JA若狭では、7月29日~31日の3日間、今年産米の集荷運動として担い手農家を巡回し、米の出荷協力を求める活動を行いました。JAの常勤役員をはじめ、支店長、営農・購買担当者、TAC、経済連職員は全員『福井米はJA若狭へ』とプリントした統一のポロシャツを着用し、一台の推進車に乗り込み担い手のもとに訪問しました。3年目となる今回は、管内4市町の35戸の農家を巡回し、米販売の厳しい現状の中での集荷方針や土づくり資材の散布啓蒙を説明し担い手の理解を求めました。

米集荷運動は、7月から収穫前まで県下各JAにてTACと県連職員の同行問活動として取組んでおり、収穫後には、米集荷の積み上げ運動を予定しています。

第2回TAC担当者研修会開催了月

7月4日(金)経済連総合センターにおいて、第2回 TAC研修会が開催されました。県下7JAのTACを はじめ20名の参加がありました。

今回の研修会では、『水稲の生育状況と今後の留意点について』農業試験場 作物部 主事 中村真也氏・『米穀情勢並びに米集荷に係るQ&Aについて』経済連 米穀課山脇俊一専門員課長・『土壌分析結果に基づく農家説明について』経済連 担い手対策課 牧野良哉専門員課長による研修が行われました。水稲の生育状況については、ハ



ナエチゼン・コシヒカリ・あきさかりの今年の生育状況や品質向上のためのポイントとして①カメムシ防除②適切な水管理の徹底③倒伏軽減作の実施(コシヒカリ)④適期収穫⑤秋の田起こし運動について学びました。米情勢と米集荷のQ&Aでは本会の米の販売実績(5月末)が前年対比80%と厳しい状況であること、26年産米の内金設定についても慎重な対応が迫られるとの説明がありました。土壌分析結果の農家説明では、実際に土壌診断処方箋を使ってどうやって農家に理解していただくかについてポイントを絞って説明がありました。

J A 花咲ふくい 水田農業ハイグレード推進大会

7月5日、坂井地区水田農業ハイグレード推進大会が坂井市のJA花咲ふくい本店で開催されました。 消費者に選ばれる米作りを目指し、土づくりについて学びました。

坂井地区農業振興協議会と県坂井農林総合事務所、 JA花咲ふくい、JAはるえ、ふくい農林水産支援 センターが主催しました。農家組合長や認定農業者、 生産組織の代表者ら約 200 人が出席しました。同県 では、さつき半ばの適期田植えや食味検査に基づく 施肥改善の取り組みにより、県産「コシヒカリ」は



食味ランキングで最高ランクの「特A」評価を2年連続で獲得しています。

同センターの伊森博志さんが「売れる米づくりは土づくりから」と題して講演しました。県内では30 ン前から乾田化が進み、作土が浅くなっていると指摘されました。「高品質米を作るには、深耕による根域 拡大と土壌診断に基づいた肥料の効果的な施用が必要」と呼びかけました。

緑肥を利用したあわら・坂井ブランド米の「花あかり」の推進や大豆の品質・収量向上対策のポイントなどについても説明がありました。

J A 福井市担い手後継者研修会

7月8日、JA福井市担い手後継者研修会が 開催されました。

当日は、JA福井市管内の担い手後継者、JA福井市TAC等約40名が出席しました。開会にあたり小林常務より、「農業の大規模化が進む中、生産者とともに地域農業の振興に努めていく。担い手のみなさんは、食糧生産という重要な役割を担っておられプライドをもって邁進していただきたい。」と挨拶がありました。

次に、「本県園芸の販売・流通について」経済 連園芸特産課 大西課長より福井県の園芸規模1



42億円で平成25年度全国最下位であったこと、平成30年度180億円としていること、野菜全体の6割は加工用等情勢等の説明がありました。

また、JA全農 営農販売企画部 上野次長より「経営力強化の取組について」(農業法人の経営概況から)と題し、講演がありました。法人化すると、経営管理能力の向上や信用力が向上する反面、管理コストの上昇や記帳義務が発生することなど説明がありました。

また、農業と雇用について、就業条件で特に重視しているものは、給与額、社会保険であるについて言及していました。質疑応答も活発に行われ有意義な研修会でした。

7月26日、永平寺水田農業者大会が福井県立大学で開催 されました。儲かるための農業実践と題し、米価の下落や高 品質米の生産と収量性の向上が求められている現状をふまえ 水稲における土づくりの実践、冬季に向けた園芸作物栽培技 術指導など農家所得向上を目指す講演がありました。

「気象変動に強い米づくり〜鍵は深耕にあり〜」福井農林 総合事務所 農業経営支援部部長 北倉芳忠氏より、深耕は 稲の張りを良くし米収量と品質向上の効果があることやケイ



酸資材施用の重要さについて説明がありました。園芸アドバイザー 大崎隆幾氏より「冬季における園芸栽培」と 題し講演がありました。福井県の園芸は全国最下位であることや販売傾向の現状、野菜作りのポイントや資材・機 械の有効利用についての説明がありました。続いて「ゆずの市場開拓から始まった地域づくり」と題して、馬路 村農業協同組合 代表理事組合長 東谷望史氏より講演がありました。馬路村はかつて林業で栄えた村でしたが、



資源の枯渇・事業の合理化によって営林署が撤退しました。林業に代わり、 村で生産される柚子の加工販売が伸び、地域づくりで注目を集めるようにな りました。その立ち上げから今日までの柚子づくり、多種多様な商品開発、 販売の仕組みを築き上げるまでの苦悩や工夫を講演していただきました。質 疑応答も行われ有意義な大会になりました。

JA花咲ふくい_{水田農業経営協議会研修会}

8月1日、JA花咲ふくいは、坂井市内で水田農業経営者研修会を開催しました。

当日は、管内の担い手農家を中心に関係者等20 0名が出席しました。開会にあたり、富田組合長より「25年産米が余っており、26年産米価がどうなるか心配である。いずれにしても、われわれは、農業生産を守りながら、法人化している皆様の負託に応えていきたい。」と挨拶がありました。研修会では北陸農政局福井地域センターの菊地総括農政業務管理官より、「担い手経営安定法」、福井農林水産支



援センター中川課長より「農地中間管理事業の受け手募集について」説明がありました。この中で中川課長は、国は平成35年までに担い手に8割農地集積をしたい考えであるが、管内では、既に8割以上集積がされていること。福井県では平成30年までに8割以上集積を図っていく旨説明がありました。JA花咲ふくい米穀課佐川課長は、26年産米価格下げ相場が続くこと。26年産米の販売環境は大きく下がった22年産米と酷似しており、厳しいものがあると説明がありました。最後に全中の金井部長より、「新たな地域営農ビジョンづくりを目指して」と題し講演がありました。内容は現在規制改革会議等で議論がされている、中央会制度の廃止や全農の株式会社化、全農・経済連の単位農協との関わり方等について説明がありました。喫緊の問題についての内容も多く、出席者は熱心に聞き入っていました。

『三ツ星若狭牛』誕生!!

福井県特産の和牛「若狭牛」よりもワンランク上の『三ツ星若狭牛』 を7月12日より県内精肉店において取扱を開始いたしました。

7月1日には福井県内の若狭牛に関わる農家や精肉店、飲食店また 県や JA の担当職員が集まり発表会と試食会を行いました。

試食会では『三ツ星若狭牛』のロース肉とモモ肉のしゃぶしゃぶ用を 試食し、関係者からは「脂があっさりしている」「うまみが凝縮され ている」等々大変好評な感想を頂きました。

和食や日本酒が注目されている今、同じ和ものである和牛にもスポットが当たるはずと『三ツ星若狭牛』の関係者の期待も高まっています。

福井の肉牛の生産農家や畜産農家が元気になる起爆剤になれるよう 福井県の特産品として PR し販売していきたいと思っています。





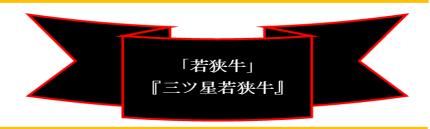


『三ツ星若狭牛』の認証ポイント

- 1. 肉質の基準が牛肉取引規格で肉質等級 3等級以上かつ脂肪交雑(さし No.)4以上。
- 2. 1. の条件を満たしたものが若狭牛となりますが、若狭牛の中でオレイン酸含有量が特に多いもの。(牛脂中55%以上)
- 3. 福井県内肉牛肥育農家の中で快適性に配慮した飼養管理基準を守り、出来るだけ牛にストレスを与えないような生産をしていることを県の機関が現地確認した認定の農場で肥育されている事。

※オレイン酸とは

身体にいいといわれている不飽和脂肪酸の一種。オリーブオイルの成分にもなっています。それが多いほど、脂肪の融点が低くなり口の中で溶けやすい脂になります。



県内の精肉店、飲食店で7月12日より一斉販売しました。 福井県産和牛「若狭牛」『三ツ星若狭牛』をご賞味下さい。 また贈り物にも最適です。

UMERAINATER ~ 5 5 16 7 2 - ~



JA敦賀美方とJA福井県経済連では、福井梅を使用した新たな飲料水開発に取り組み、時代のニーズに対応したペットボトルタイプの飲料水を販売することになりました。若い世代の方にも気軽に飲んでいただけるよう、従来の缶タイプに加えボトルタイプも取り入れることで幅広い年代の方に親しみをもって飲んでいただき、福井梅のさらなるPRと消費拡大を図ることをねらいとしております。

ウメラルウォーターは福井梅のストレート果汁を5%使用し、福井の天然水仕立てのやわらかな口当たりと、すっきりとした喉ごしに仕上げております。ほんのり感じる梅の味が気分をすっと気分をやわらげてくれます。

水の中ではじけるような梅をイメージしたパッケージは、これから始まる暑い夏にもさわやかな 感覚を与えてくれるデザインです。

・ウメラルウォーター 130円(税込)/1本



7月の特産市は、夏本番!ふくいの夏得市開催!をテーマに開催され「大玉!小玉!金福!のすいか祭り」と題して試食販売が行われ多くのお客様が来場されました。また「トマトジュレ」や「くだものを漬けて飲みま酢」などの試食販売なども行われました。

その他には福井県の特産品を使用した「素敵なカレー」や「ふぁ~菜」なども好評でした。まだ食べたことのない方は一度ご賞味ください!

次回特產市8月22日(金)開催



品質・性能・快適性を追求した

JA TO BE SEED OF THE SEED OF T





お求めはお近くのJAへ!

